

今号では、義務教育指導班から「生徒指導に係る資料」、高等学校教育指導班から「S-TEAM 教育推進事業 令和6年度『探究チャレンジ石狩』（令和6年12月10日～12日実施）」、社会教育指導班から「年度末の学校運営協議会における熟議のポイント」について紹介します。

義務教育指導班

生徒指導に係る研修等で活用してください

管内においては、石狩管内教育推進の重点2「学校組織の強化・活性化」を踏まえ、いじめ問題や不登校等の生徒指導上の諸課題への組織的な対応を進めています。生徒指導の一層の充実に向け、北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課作成の資料を参考に校内研修等でご活用ください。

令和4年12月に生徒指導提要が改訂され、児童生徒理解に基づく「チーム学校」での生徒指導の一層の充実が求められています。

北海道教育委員会では、生徒指導の内容について、理論と実践から理解を深められるよう、資料『生徒指導提要』概要版～深い児童生徒理解と組織的な生徒指導の充実を目指して～をホームページに掲載しています。

本資料は、〔理論編〕〔事例編〕〔資料編〕で構成されています。

〔理論編〕は、「生徒指導提要」の中心的な箇所を、短時間で読み、理解を深めることができるよう、コンパクトにまとめています。

〔事例編〕は、個別の課題への対応について理解を深めることができるよう、事例と学校での対応に関する考察を掲載しています。

〔資料編〕は、国や道教委が作成した教職員研修資料を活用できるよう、URLや二次元コードを掲載しています。

〔事例編〕 事例15 「学級での人間関係づくり」から一部抜粋

A教諭は、中学校第2学年の学級担任である。本校は、毎週末に学年打合せを行い、生徒指導上の問題等を共有している。

はっきりとものを言う

- 生徒Bは、授業中、積極的に自分の考えを発言する生徒であった。
- 6月上旬、A教諭は、クラスの複数の生徒から「生徒Bの言っていることはわかるけど、言い方がきつい。傷付いてしまう」との相談を受けたことから、A教諭は生徒Bと面談を行った。

生徒Bへの不満

- 6月下旬、生徒Bは3校時の授業後に教材の片付けを手伝っていたため、4校時の体育の授業に遅れてしまった。
- 生徒Bは、保健体育担当のC教諭に事情を説明したが、それを聞いていた他の生徒の中には、生徒Bに対し、「謝ればいいものではない」「いつも他人に注意しているくせに」と、非難する生徒もいた。

学校を休み始めた

- 7月中旬、生徒Bは体調不良を理由に2日連続で学校を欠席した。
- 週明け、生徒Bの保護者は、A教諭に「子どもは、学校に行くのが嫌だと言っている。理由を聞いても話そうとしない。学校で何かあったのか？」と聞いた。A教諭は、生徒Bの保護者に、学級での人間関係が背景にあるかもしれないと考えたが、このことを保護者にどう説明したらよいか、迷い始めてしまった。

A教諭は、どのように対応すると、よかったですか。



道教委ホームページには、A教諭が一人で抱え込まず、組織的に対応するための方策等が掲載されています。校内研修等でご活用ください。



本資料と「生徒指導提要」を積極的に活用し、一人一人の児童生徒が抱える課題等に向き合い、個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える生徒指導の実現に取り組みましょう。
(義務教育指導班指導主事 加藤 慎嗣)

高等学校教育指導班

S-TEAM 教育推進事業 →



「探究チャレンジ石狩」は、管内全ての高校が参加し、生徒が取り組んだ探究活動の成果を発表要旨などに基づき発表・交流するものです。なお、代表校は、令和7年2月1日に実施する「探究チャレンジ・アジア」に参加します。

審査員コメント(抜粋)

- ・ 課題解決に向け、仮説を立て、トライアンドエラーを繰り返しながら前進している様子がよく分かる発表でした。
- ・ 地方公共団体の過去の失敗例や、人口増に成功している町の分析からの結論は、聞いていて納得感のある発表でした。

「探究チャレンジ・アジア」代表校

代表① 北海道札幌西高等学校 「幸福度を上げるには - 数学を用いて理想的な社会を結論づけることは可能か -」

代表② 北海道札幌国際情報高等学校 「〇〇年後のヒトの姿」

代表③ 北海道札幌南高等学校 「宗教と不景気の関係性」

「総合的な探究の時間」や「課題研究」などで取り組んだ探究活動の素晴らしい成果発表ばかりでした。全ての生徒が、今回の探究を新たな探究に結び付け、生涯にわたって学び続けてくれることを願っています。
(高等学校教育指導班主査 鈴木 肇)

社会教育指導班

新年度につなげる学校運営協議会へ

今号では、年度末の学校運営協議会における熟議のポイントをまとめました。学校が学校経営方針の承認や報告をするのみとせず、学校運営協議会委員の意見やアイデアを学校運営強化につなげるため、「熟議」を設けましょう。



- 育成する子ども像を繰り返し共有しましょう。**
すでに共有している育成する子ども像について、年度末の学校運営協議会で改めて共有し、子どもの現状を振り返り、育成する子ども像に向け、地域でできることについて「熟議」しましょう。
- 学校が抱えている課題等を地域と共有しましょう。**
課題等の解決に向けて、学校が地域と連携して取り組みたいことや、地域が学校と一緒にできることなどについて「熟議」しましょう。
- 地域と連携・協働して、より学びを充実させましょう。**
地域人材の協力による教育活動の充実に向けた取組について「熟議」しましょう。また、教育活動の充実に向けた地域人材の発掘や育成などについても「熟議」しましょう。

年度末の学校運営協議会の内容や進め方等について相談がありましたら、石狩教育局社会教育指導班巡回訪問(要請訪問)を御活用ください。また、次年度の学校運営協議会の計画や地域学校協働活動等についても支援します。
社会教育指導班社会教育主事 只野 浩 太

〈お知らせ〉

恵庭市の「恵み野小学校学校運営協議会」、「恵み野小学校区コミュニティスクール推進協議会」が令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。